

第13回高校生模擬裁判選手権 関西大会 報告書

大阪弁護士会 高橋 礼雄

1 大会概要

令和元年8月3日、大阪地方裁判所・大阪弁護士会館にて、第13回高校生模擬裁判選手権関西大会が開催されました。

本年は、近畿2府4県及び岡山県から、合計17校の参加申込がありました。参加申込校は全国的に増加してきており、関西大会では3年前(第10回・8校)から倍増しています。

以上の状況に鑑み、関西大会においては、本年より、裁判所をはじめとする関係各所の協力を得て、本選出場校数を8校から10校に増やすことになりました。本年は、抽選・予選により選抜された、下記の高校が本選に出場しました。

- ・ 関西大学高等部 (大阪)
- ・ 同志社香里高等学校 (大阪)
- ・ 立命館高等学校 (京都)
- ・ 神戸海星女子学院高等学校 (兵庫)
- ・ 神戸女学院高等学校 (兵庫)
- ・ 三木学園白陵高等学校 (兵庫)
- ・ 立命館守山高等学校 (滋賀)
- ・ 西大和学園高等学校 (奈良)
- ・ 近畿大学附属和歌山高等学校 (和歌山)
- ・ 創志学園高等学校 (岡山)

2 選手権の内容

今回の事案は、被告人が、オープンして間もない雑貨店を訪れたところ、万引きGメンからコーヒー粉4袋を万引きした疑いをかけられ逮捕された、という窃盗事件で、被告人は、盗むつもりが無かったと主張しています。

本選出場校は、概ね6月ころから、各弁護士会から派遣される弁護士の支援を受け本番に向けた準備を開始しました。そして、検察官からの支援も受けたうえ、弁護側、検察側それぞれの立場からの尋問事項及び論告・弁論を準備して、本番当日に臨みました。

本番当日、参加各校は、各2試合（検察側・弁護側で1試合ずつ。対戦の組み合わせは抽選にて決定）を行ない、主張・立証の分かりやすさを競いました。出場生徒は、尋問においては、模型や見取図を準備したり、聞き方や構成を工夫したりして質問をしていました。また、論告・弁論においては、時には淡々と、時には大声を張り上げて、さらにホワイトボードや模造紙等も活用しながら、効果的な論告・弁論をしていました。

各試合は、法曹三者（裁判官、検察官、弁護士）に加え、学者及びマスコミ関係者の5名の審査員により採点がなされ、試合後には、各法廷にて各試合についての講評が行われました。

3 結果

熱戦の結果、西大和学園高等学校が優勝（2連覇）、三木学園白陵高等学校（初出場）が準優勝、近畿大学附属和歌山高等学校が3位、神戸女学院高等学校（初出場）及び創志学園高等学校（初出場）が同点で4位ということになりました。結果発表の際には、大きな歓声が起こる一方で、悔し涙を流す生徒が居るなどし、生徒たちの大会にかける真剣な思いが伝わってきました。

選手権後の交流会では、各校の生徒が、他校の生徒と健闘を称え合い、また、審査員にはいろいろと質問をするなどし、交流を深めていました。

以上